

2. 事業の概要と成果													
(1) 上位目標の達成度	事業地の障害児 80 人に車椅子を供与し、彼らは自由に移動できることによって、治療や教育を受けやすく、日常生活が改善されて、将来自立するために素地を育成助長する事が出来た。												
(2) 事業内容	<p>申請書の事業内容に従って実施し、1月24日にマニラ市の現地提携団体であるジェイ・ロザリオ（JVR）財団のホールで受益団体責任者と障害児 20 名と保護者、在フィリピン日本大使館、保健省福祉局幹部、メディアなどが出席して供与先へ 80 台の子ども用車椅子の引き渡し式を行い、最終的に 2 月 15 日に各供与先に全数引き渡しを完了した。80 台の供与先別の引き渡した台数は</p> <table style="margin-left: 40px;"> <tr> <td>フィリピン脳性マヒ協会</td> <td>15 台</td> <td>ノーフィル財団</td> <td>22 台</td> </tr> <tr> <td>エリジー障害児治療施設</td> <td>17 台</td> <td>ミッション施設</td> <td>15 台</td> </tr> <tr> <td>クリエートジョブ 障害者協会</td> <td>11 台</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>1 月 25 日から 27 日迄供与先の全ての団体の施設と障害児の家庭を 5 ヶ所訪問し、障害児の生活と治療の実態を把握し、車椅子の維持管理の方法についての的確に行い有効活用をするよう徹底した。</p>	フィリピン脳性マヒ協会	15 台	ノーフィル財団	22 台	エリジー障害児治療施設	17 台	ミッション施設	15 台	クリエートジョブ 障害者協会	11 台		
フィリピン脳性マヒ協会	15 台	ノーフィル財団	22 台										
エリジー障害児治療施設	17 台	ミッション施設	15 台										
クリエートジョブ 障害者協会	11 台												
(3) 達成された効果	<p>障害児 80 名が車椅子を入手することで、自由に動け、外気や紫外線にふれて肉体的精神的な健康維持が出来、更に座位を保たれて骨や筋肉の発達を助けることが出来る。彼らの家族や訪問介護のワーカーは背負ったり、抱かずに治療のために病院やリハビリセンターへ行って治療を受けることが出来る。家族や職員の裨益者数は該当する子どもの 3 倍の 240 人になる。</p> <p>また子どもの成長によって小さくなったら他の適合する障害児にリユースできる。</p>												
(4) 持続発展性	<p>車椅子を供与した障害児の保護者と供与した団体とは契約書を取り交わして、責任を持って維持管理を行うことを確認。</p> <p>また、破損や故障した時は修理に必要な部品は無償で、当会が負担して現地提携団体経由で支給することを各供与先に説明し確認した。</p>												